



2022年 8月10日
株式会社 愛知銀行

あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

株式会社愛知銀行（頭取 伊藤 行記）は、株式会社テルミック（本社 愛知県刈谷市、代表取締役 田中 秀範）と、あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

記

1. 融資概要

契約締結日	2022年8月10日（水）
融資金額	100百万円
融資期間	7年
資金使途	運転資金、設備資金

2. 株式会社テルミックの概要

本店所在地	愛知県刈谷市小垣江町永田 47 番地
代表者	田中 秀範
事業内容	金属加工全般
設立年月日	1997年2月7日
電話番号	0566-28-7766

3. 特定されたインパクトと測定するKPI

社会面	<ul style="list-style-type: none"> ・女性雇用比率・女性リーダー活躍比率を2030年までに50%以上（実績開示） ・産休利用者数・育児休業利用者数を100%維持（実績開示）
経済面	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先数の増加（取組活動開示）
環境面	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ仕入先の環境取組割合を2030年までに100%（実績開示） ・CO2排出量削減に向け2030年までに再エネ率100%の実現（実績開示） ・産業廃棄物の分別、リサイクル80%以上維持（実績開示）

< 記念盾贈呈式の様子 >



株式会社愛知銀行

株式会社テルミック

執行役員法人営業部長 伊藤 公二

代表取締役 田中 秀範 氏

4. ポジティブ・インパクト・ファイナンスについて

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。

KPIの達成に向けて取り組む過程を対外的に発信することで、お客さまの社会的評価の向上が期待されます。

本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します^(※1)。

(※1) 当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

以上

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」評価書
～株式会社テルミック～

2022年8月10日

株式会社愛知銀行

法人営業部

法人ファイナンスグループ

目次

はじめに	2
1. 企業概要	2
①会社概要	
②沿革	
③ビジネスモデル図	
④経営理念	
2. 事業内容	6
①確かな品質で「圧倒的に楽な購買体験」を取引先に提供	
②株式会社テルミックの品質と加工技術	
3. 地域の課題解決に向けた取り組み	8
①愛知県の指標	
②株式会社テルミックの取り組み	
4. その他の活動	9
①取得認定・認証等	
②テルミックセミナーの開催	
③講演実績	
④ESG・SDGsの取り組み	
5. インパクトの特定	14
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）	
③国内のインパクトニーズ	
④海外のインパクトニーズ	
⑤特定したインパクトに対する愛知銀行の方向性との確認	
6. 測定するKPI	19
①女性の積極登用や休暇取得促進によるダイバーシティ推進（ポジティブ増大）	
②持続可能性に配慮したサプライチェーンの構築（ポジティブ増大、ネガティブ低減）	
③環境に配慮した取り組みの推進（ネガティブ低減）	
7. インパクト管理体制	20
8. モニタリング方法	20
9. 総括	20
（参考資料）	21

はじめに

株式会社愛知銀行は、株式会社テルミックの事業が「環境」・「社会」・「経済」に与えるインパクトを分析・評価し、「あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、あいぎん PIF）」を実行した。

なお、株式会社愛知銀行は、国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」、及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、株式会社テルミックの事業活動を分析・評価し KPI を設定した。

<融資条件概要>

融資形態	証書貸付
融資金額	100,000,000 円
資金用途	運転資金、設備資金
融資・モニタリング期間	7 年

1. 企業概要

①会社概要

会社名	株式会社テルミック
設立年月日	1997 年 2 月 7 日
資本金	75,000,000 円
代表取締役	田中 秀範
事業内容	金属加工全般、治具部品加工、金型用部品加工、精密部品加工、ライン用パレット加工・組付け、樹脂・アクリル・ゴム加工、各種コーティング・鍍金処理、レーザーマーカ、加工部品の精密寸法測定 他
本店所在地	愛知県刈谷市小垣江町永田 47 番地
りんくう常滑営業所	愛知県常滑市新開町 6 丁目 1-10
知立営業所	愛知県知立市本町本 88-1 亀楽ビル
島根営業所	島根県松江市北陵町 1 番地テクノアークしまね南館 K
海外グループ会社	【中国】 ・蜜酷貿易（深圳）有限公司 ・蜜酷貿易（大連）有限公司
従業員数	130 名（2022 年 5 月末）
決算日	1 月 31 日
免許・認定等	ISO9001（品質マネジメントシステム）
主な取引先	自動車部品関連、一般産業用機械関連、航空機関連、運輸機器、アミューズメント機器関連、金型関連、主要取引先 1,000 社以上

②沿革

年月	概要
1990年2月	愛知県刈谷市青山町にて創業
1997年2月	有限会社テルミック設立
2001年2月	株式会社テルミックに商号変更
2003年11月	愛知県刈谷市小垣江町に工場兼事務所新設
2006年3月	ISO9001：2008取得
2012年7月	資本金を2,000万円に増資
2015年6月	名古屋営業所開設
2016年2月	安城営業所開設
2017年2月	りんくう常滑営業所、りんくう常滑検査・出荷センター開設
2017年3月	資本金を7,500万円に増資
2018年3月	ISO9001：2015（更新）
2018年8月	豊田営業所開設
2019年1月	知立オフィス開設
2020年2月	りんくう常滑検査・出荷センター増設 りんくう常滑工場新設
2020年8月	豊田営業所・安城営業所・名古屋営業所の3営業所を既存の刈谷本社・りんくう常滑営業所・知立営業所に統合
2020年10月	蜜酷貿易（深圳）有限公司、蜜酷貿易（大連）有限公司、中国の大連地区、深圳地区にある物流会社を海外グループ会社として子会社化
2020年12月	島根県に愛知県外初の営業所開設
2022年8月	刈谷本社増設（本社工場隣接）
2023年8月（予定）	島根営業所新築予定（3,107.71㎡（うち法面568㎡））

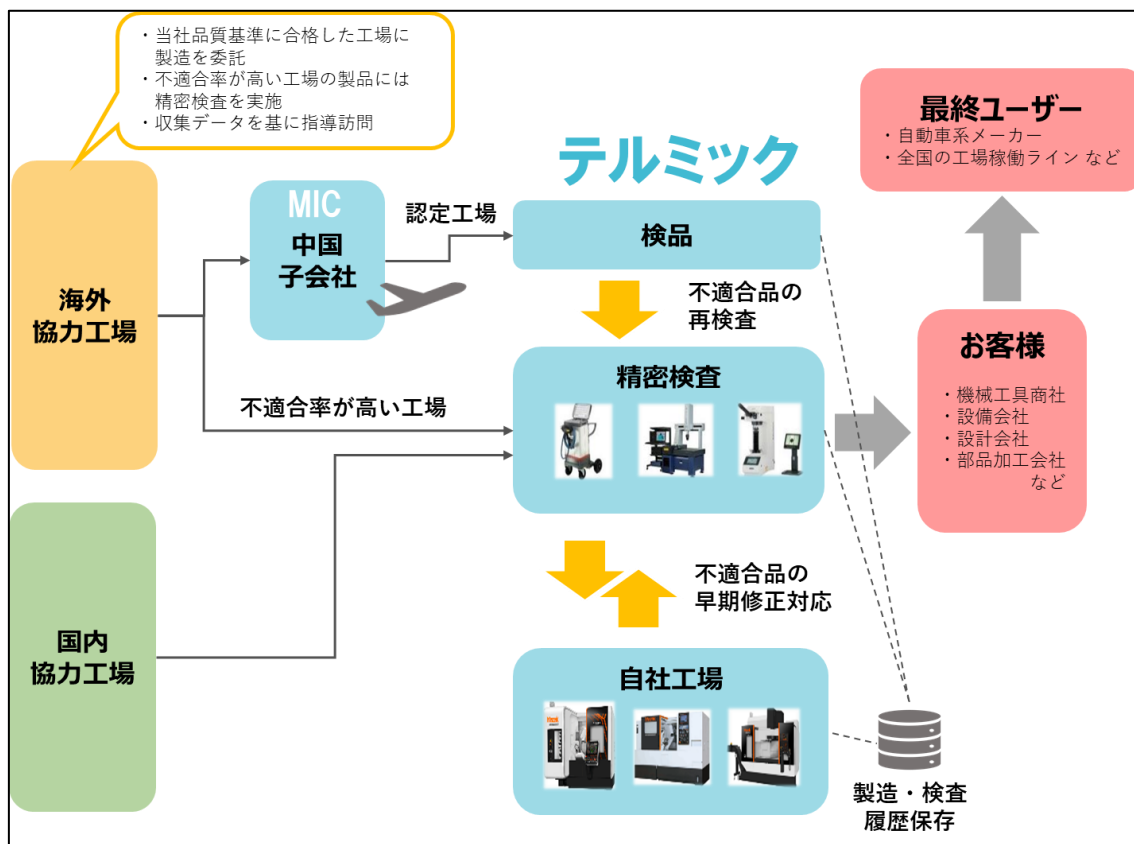


←マスコットキャラクター「てるみちゃん」

りんくう常滑営業所→



③ビジネスモデル図



※株式会社テルミックのビジネスモデルは、海外（中国）または国内における協力工場から製品を仕入れ、もしくは自社の生産設備において製造し、自動車業界をはじめ一般産業用機械など業種問わず全国から多種多様な業種・業界に対し、主に工作機械の部品や金型部品を供給している。

※金属加工部品全般のプラットフォームとして、多岐に渡る業界に対し迅速かつ安定的に製品を供給しており、サプライチェーンの円滑化に貢献している。



製品物流の様子（中国からの製品受入）

④経営理念

経営理念

ものづくりのエンターテイナー

～製造業に携わる人たちすべてを楽しく、ワクワクさせる会社を目指します～

基本方針

革新的な技術のものづくりを目指し、業界の発展に貢献します

IT技術を活かしたビジネスモデルを創り上げていきます

効率的な経営で、ステークホルダーの利益を最大化します

～社長メッセージ（抜粋）～

当社は理念を実現するために、基本方針を3つ掲げています。

一つ目に、国内外協力会社のネットワークを駆使し、物流を強化したスマート工場を活用して、短納期、一貫生産を実現します。お客様に“圧倒的に楽な購買体験”をご提供して参ります。

二つ目に、独自の生産管理システムや IT ツールを使用したスピード経営を行い高い信頼を勝ち取ります。

三つ目に、我々はお客様と仕入れ先を繋ぐプラットフォームを構築することで、当社に関わるすべての人々が互いに得をするような環境を作り上げていきます。また、女性管理職を積極的に登用し、安心して働けるような企業内インフラを整えていきます。

*SDGs（持続可能な開発目標）、ESG という社会共通の目標にも積極的に取り組み、CO2 の排出 0 を目標に当社にかかわるすべてのサプライチェーンも含め、指導にかかわるような活動をし、サステナブルな企業を目指します。



売上を表示する大型 LED パネル



エントランス展示の製品見本

2. 事業内容

自動車部品製造業をはじめとした多岐に渡る産業に対する工作機械部品等を製造している。積極的なDX推進により高品質・短納期を実現させ、地域企業を中心に日本全国の様々な業界のサプライチェーンを円滑化させており、金属加工部品全般のプラットフォームとしての仕組みを構築している。2017年2月にりんくう常滑営業所を新設し中国・香港の協力会社から迅速に受け入れることのできる体制構築に加え、デジタル技術を活用した生産・営業システムを積極的に導入しており、より一層の供給網を築き上げている。

さらには、独自にシステム化された生産体制・営業体制により「外訪しない内勤による営業スタイル」を確立するとともに、地元から女性や外国人を積極的に採用しており女性活躍推進およびダイバーシティ推進を進めている。

①確かな品質で「圧倒的に楽な購買体験」を取引先に提供

株式会社テルミックは、治具・工具等・加工部品の多種多様な要望に応えることができる部品加工のプロ集団である。大手企業が集積する愛知県刈谷市において、創業時から受注生産しており、単品や小ロットまであらゆるニーズに応じてきた。現在、取引先は自動車業界をはじめ、一般産業用機械など業種問わず愛知県から世界各地に広がっている。

短納期・高品質

通常納期は約2週間かかるが、国内外における多数の協力工場との連携と自社工場での加工を合わせて短納期を実現しており、最速翌日配送を可能としている。「すぐに部品がほしい」というニーズに条件が合えば翌日の手配も可能である。また、検査体制も万全で、製品はテルミックの検査手順に従って徹底して検査しており安心を提供している。ISO9001を取得しており、クオリティの高い製品・サービスの提供に加え、海外協力工場へ定期訪問し検査指導を行っている。



ISO9001

単品・小ロットから対応

金属・樹脂加工を得意とし治具、試作品、機械部品などの部品加工を高品質・最適価格・スピーディーに提供している。単品・小ロットから、自動車部品をはじめとする量産加工まで柔軟に対応でき、表面処理や焼入れを含む製品も一貫して製作が可能で様々なニーズに対応できる。自動車業界や一般産業用機械のみならず、建設業界やアミューズメント関連業界など広範囲に及ぶ分野の企業と取り引きしている。

最適価格・迅速な見積り

無駄なコストを省き徹底した最適価格に挑戦しており、手持ちの図面1枚・1個から要望に応じて見積りに対応している。見積りのできるスタッフを社内に常駐させており、見積もり依頼から最短45分、24時間以内に回答できる体制を整備している。

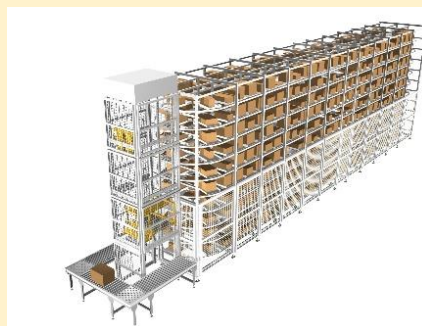
②株式会社テルミックの品質と加工技術

五軸加工機

五軸加工機（縦・横・高さの三軸に回転軸・傾斜軸の二軸を追加した機械）により、ワークの固定が一回で済むことから段取り替えが不要になり、ワンチャッキングで多面加工が行うことができる。工程集約による効率化・自動化・治具の簡略化・加工精度の安定・工具の有効活用などの効果から低価格化が期待できることに加え、3D CAD/CAMを使用することで三軸ではできなかった複雑形状の加工が可能になり、製品のさらなる高付加価値化を実現している。

次世代の物流 自動倉庫

最大1,500ロットの製品を格納することができる、仕分け・保管・検索の機能などを持つロータリーラック(自動倉庫)の導入により生産性を向上させ、円滑な製品の供給体制を構築している(DXの推進)。耐震性に優れており、災害時でも大切な製品をしっかりと守ることができるとともに、バーコード管理による高速かつ的確な仕分けを行うことで、省力化・省人化を実現した。



毎日200件以上の出荷を行っている中で、製品の所在をフロア中探す手間がなく、急ぎの出荷の依頼などにも迅速な対応を可能としている。また、生産管理システムと倉庫管理システムを連携活用し、受入から出庫までを一元管理しており、製品の状態によって出庫場所を変える等のムダ・ムラを極限まで省いたロジスティクスを実現している。そうしたなか、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の「DX認定制度」の認定事業者認定されたことに加え、特定非営利活動法人ITC中部が主催する中部地域において優れたIT経営を実践し、他の参考となるような中小企業等の取り組みを表彰する「中部IT経営力大賞2020」の受賞や経済産業省による「地域未来牽引企業」に認定されている。



DX認定制度 認定事業者
(独立行政法人情報処理推進機構)



中部IT経営力大賞2020
(特定非営利法人ITC中部)



地域未来牽引企業
(経済産業省)

その他加工

アルマイト・窒化・浸炭など、材料表面を科学的に変化させて耐食性や表面硬度を高める加工や、TiCN・浸炭焼入・ガス軟窒化からメッキまで、あらゆる熱処理・表面処理を可能としている。

3. 地域の課題解決に向けた取り組み

①愛知県の指標

株式会社テルミックは、本社を愛知県刈谷市、営業所を愛知県常滑市・知立市および島根県松江市に構えており、愛知県を中心に事業展開している。

愛知県においては、リニア中央新幹線が全線開業しスーパー・メガリージョンの形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン 2030」を 2020 年 11 月に策定した。2030 年度に向けた基本目標として「暮らし」、「経済」、「環境」の指標を加え、SDGs に関連する目標として「重要政策の方向性」を掲げている。

<基本目標>

進捗管理指標	数値目標	現状
<暮らし> 県民の幸福感（10 点満点）	平均 6.5 点超の維持（～2030 年度） （過去 4 回の平均（6.5 点）超えの維持をめざす）	5.7 点（2013 年度） 6.3 点（2015 年度） 7.2 点（2017 年度） 6.7 点（2019 年度）
<経 済> 県内総生産の国内総生産に対するシェア	7.7%程度（2030 年度） （世界同時不況前の 7.6%を上回り、東京に次ぐ全国 2 位の維持をめざす）	7.4%（2017 年度）
<環 境> 温室効果ガスの総排出量の削減率（2023 年度比）	26%削減（2030 年度） （国・県の施策による削減効果を踏まえ、26%の減少）	1.0%削減（2017 年度）

<重要政策の方向性～進捗管理指標～>（一部抜粋）

指標名	現状
管理的職業従事者に占める女性の割合 【数値目標】 30%（～2030 年）	13.5%（2017 年）
製造品出荷額等の全国シェア 【数値目標】 15.5%程度（2030 年）	14.7%（2018 年）
温室効果ガスの総排出量の削減率（2013 年度比） 【数値目標】 26%削減（2030 年度）	1.0%削減（2017 年度）

②株式会社テルミックの取り組み

i) サプライチェーンの安定供給

リーマンショックを転機として改革を実行した結果、2014 年 1 月期から 5 年間で売上高が約 10 倍増加し、2021 年 1 月期ではコロナショックで約 4 割売上が減少したものの、1 年で V 字回復させた。DX の推進により高品質・短納期を実現させ、地域の企業に対するサプライチェーン上の供給を円滑にさせている。また、愛知県の目指す生産活動への貢献とともに、CO2 排出量の削減にも取り組み、2021 年度において前年度比 11%削減した。

ii) 女性活躍推進を中心としたダイバーシティ推進の取り組み

女性が働きやすい職場環境の整備に取り組むとともに女性を積極的に採用しており、地域の雇用を支えている（平均年齢 31.7 才、女性比率 67.6%）。また、外国人労働者も積極的に雇用しており、ダイバーシティ推進を進めている。

4. その他の活動

①取得認定・認証等

認定・認証等	認証機関等
ISO9001 品質マネジメントシステム	日本品質保証機構 (JQA)
DX 認定制度 認定事業者	独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2018 ジャパン東海・北陸大会アントレプレナー賞 東海・北陸地区代表候補 (田中社長)	EY Japan
あいち女性輝きカンパニー (常時雇用 300人以下の部) 優良企業	愛知県
「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」就任	愛知県
中部 IT 経営力大賞 2020	特定非営利活動法人 ITC 中部
地域未来牽引企業	経済産業省
刈谷市ハーモニーカンパニー	刈谷市
健康経営優良法人 2022 (中小規模法人部門)	経済産業省
「SECURITY ACTION」二つ星を宣言	独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
かりや健康づくりチャレンジ宣言「優秀賞」受賞	刈谷市
愛知県 SDGs 登録制度	愛知県



②テルミックセミナーの開催

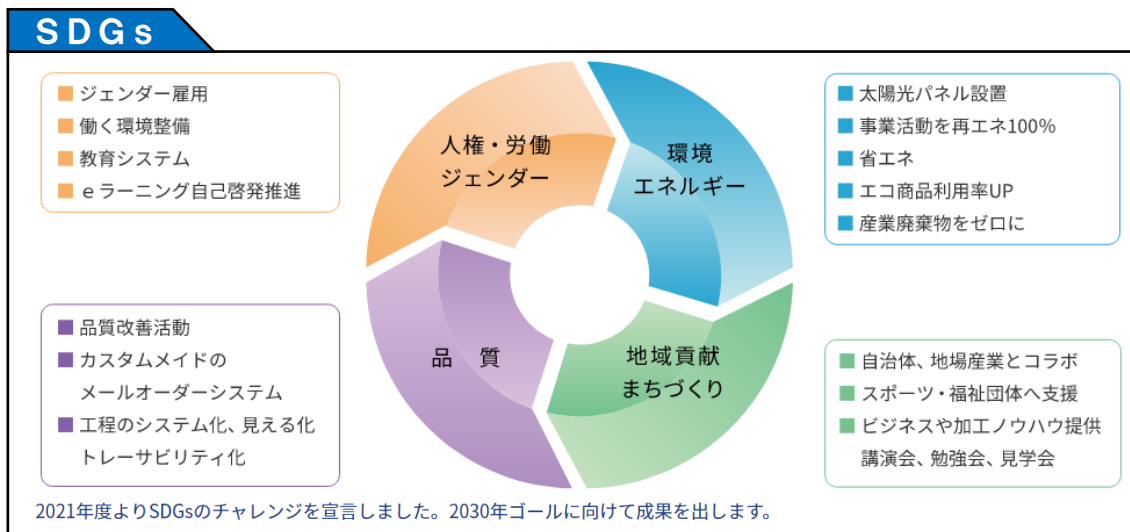
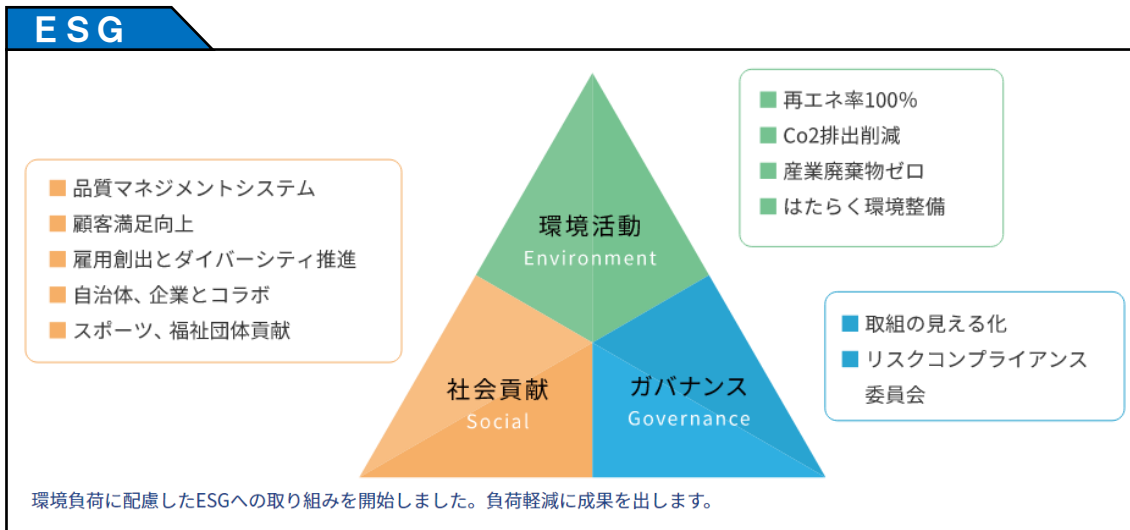
回次	開催日	テーマ
第一回	2021年10月22日	製造業で女性が活躍できる理由
第二回	2021年12月3日	製造業のDX推進_中小企業におけるDXの取組事例
第三回	2022年2月18日	チャレンジする製造業の経営戦略 ～コロナからのV字回復！そして次に何をすべきか～
第四回	2022年4月22日	製造業必見！！～中小企業スマート工場化への道～
第五回	2022年6月17日	中小企業必見！！ ～ゼロから始める製造業の広報戦略・SNSの活用方法～
第六回	2022年9月16日 (開催予定)	製造業×SDGs ～2030年の世界目標に向けて製造業である私たちができることってなんだろう？～

③講演実績

開催日	会議名等
2021年2月	「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第13回講演会」 主催：広島県中小企業団体中央会
2021年6月	「機械器具部会 総会」 主催：名古屋商工会議所
2021年8月	「三河地区ものづくり企業のビジネスフォーラム」 主催：島根県なごや情報センター
2021年10月	「品加工業経営部会、セットメーカー経営部会」 主催：船井総合研究所
2021年11月	「島根デジタルフォーラム2021」 主催：日本システム開発株式会社
2021年11月	「生産革新ファミリーユーザー会 感謝祭」 主催：株式会社大塚商会
2021年11月	「モスクワ、ニジニー・ノヴゴロド日本センターWeb講座」 主催：モスクワ日本センター（日本国政府により設置）
2022年2月	「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会 シンポジウム」 主催：内閣府、共催：愛知県
2022年5月	主催：名古屋中小企業投資育成株式会社
2022年7月	主催：中部マーケティング協会
2022年7月	愛知県知立東高等学校 SDGs 地域探求バスツアー
2022年8月	主催：愛知経営塾 ※講演予定
2022年10月	主催：RX JAPAN 株式会社 ※講演予定

④ESG・SDGsの取り組み

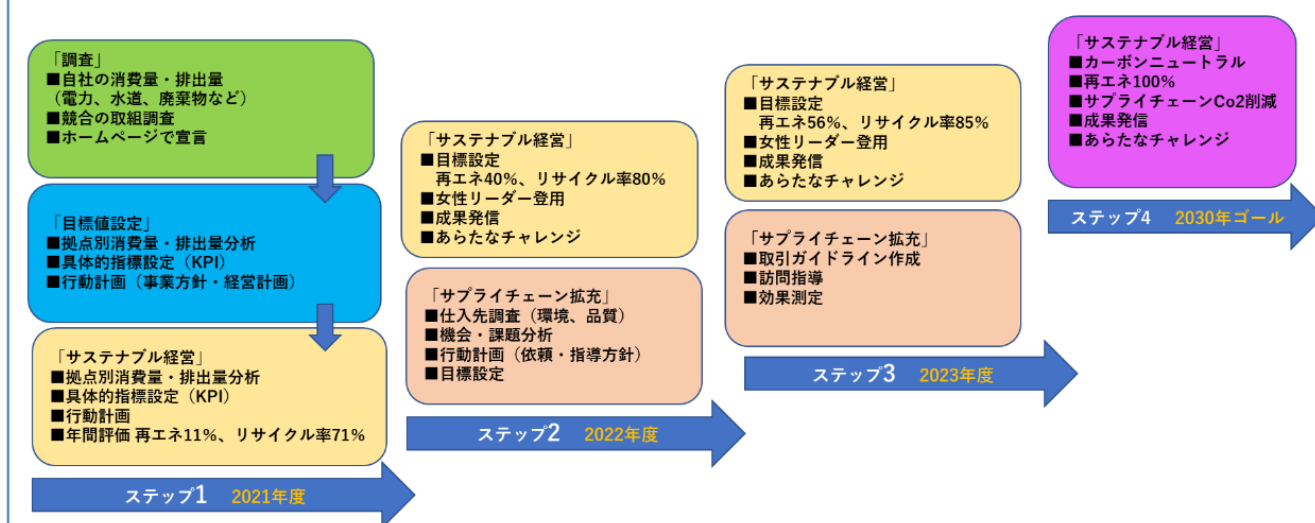
株式会社テルミックでは国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、取り組みを通じて持続可能な社会に貢献する「SDGs宣言」を発信している。環境取組を開始したのは2021年で創業以来初めての取組目標となった。環境負荷に配慮したSDGsやESGへの具体的な取り組み目標を宣言し、CO2排出削減等による環境活動や雇用創出・ダイバーシティ推進等による社会貢献、取り組みの見える化等によるガバナンスなど、負荷軽減に積極的に取り組み始めている。



具体的な取組内容として、再生可能エネルギー100%や産業廃棄物ゼロの取り組みに加え、働く環境整備による人権・労働・ジェンダーへの取り組み、品質改善活動や工程のシステム化・見える化・トレーサビリティ化、DX推進による「ものづくりのエンターテイナー」、女性リーダーの積極登用等による「働きがいのある職場づくり」、環境負荷の少ない資材への切り替等による「環境配慮に向けて」、地場特産品とコラボしたノベルティグッズの製作等による「地域貢献・まちづくり」など、取組成果は定期的に社内発信され教育と共有がなされている。

テルミックのSDGs取組内容 2030ゴール

- 自社カーボンニュートラル（電力、産廃、自動車）
- ジェンダー平等推進（若手・女性・外国人積極採用、女性管理職登用）
- サプライチェーン連携取組（取引拡大、環境負荷低減）



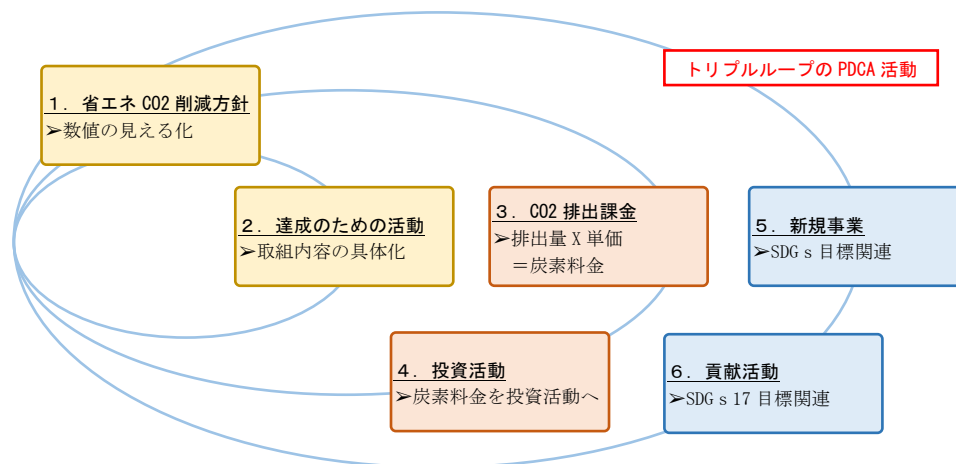
テルミック公式キャラクター「てるみちゃん」グッズ（ノベルティ）



りんくう常滑営業所エントランス

【SDGs 環境に配慮した投資計画】

2019 年度の全社 CO2 排出量に単価を設定して過去 10 年分を乗算した金額を環境予算とし、環境設備関連に投資を始めた。太陽光パネル設置による再生エネルギー切替えや省エネ活動が現在のところ進んでいる。電力供給会社の CO2 フリーメニュー切替えと合わせて、2030 年の CO2 排出実質ゼロを目指している。



【SDGs 見える化活動】

SDGs の目的とテルミックでできることを全社員に教育。設定した目標に対する進捗結果を、全社員パソコンを利用した環境で資料開示。また SDGs ニュースとしてデジタルサイネージが全事業所で常時プレビューできる環境がある。また全社員で SDGs 宣言をしたり、未来予想図キャンペーンでアイデアを募集したり、SDGs な新たな取組みを承認して表彰したり、ゲームのようにポジティブインパクトを与え続けることで、全員参加型の取組みで成果を出している。



電力・CO2 排出量等の見える化

【サプライチェーン拡充、スコープ 2 へ着手】

2021 年度より取り組んでいる SDGs 活動が 2 年目に入り、環境目標を設定して自社の CO2 削減の取り組みが進んでいる。また、環境省が定めるエコアクション 21 の取得に向けた環境活動を進めており、取得後はサプライチェーンの環境調査に着手する予定である。テルミックの国内活動だけでなく、海外活動についても環境の取り組みが見える化される予定で、若い会社の成果に期待したい。

5. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

愛知銀行は事業性評価の分析により株式会社テルミックの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社テルミックの業種カテゴリは多岐に渡る為、分布は主要業種の掲載に限定する。分布図中の「赤色」は重要な影響があるカテゴリ、「黄色」は影響があるカテゴリを示す。株式会社テルミックの事業活動を通じて関与できるカテゴリに限定して影響を検討する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

【当社の川上における事業のインパクト】

	川上の事業									
	鉄鉱業		その他の非鉄金属業		プラスチック及び合成ゴム素材製造業		プラスチック製品製造業		自動車部品及び付属品製造業	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)										
食料										
住居										
健康・衛生										
教育										
雇用										
エネルギー										
移動手段(モビリティ)										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義・公正										
強固な制度・平和・安定										
水(品質)										
大気										
土壌										
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性										
気候										
廃棄物										
包括的で健全な経済										
経済収束										

川上の事業においては、特に重要な影響を及ぼすものとして環境面のネガティブインパクトが挙げられる。当社では、仕入先の選定基準として環境面への取組方針を確認しており、仕入先の製造過程における環境負荷低減を促すことで川上の事業でのネガティブインパクト低減を図っている。

また、当社では近年の受注増加を受けて中国の協力工場からの仕入れを拡大しており、川上の事業における新たな雇用創出にも寄与している。

【当社における事業のインパクト】

	当社の事業							
	プラスチック製品製造業		構造用金属製品製造業		金属の処理・塗装・機械加工業		金属成形機械及び工作機械製造業	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)								
食料								
住居								
健康・衛生								
教育								
雇用								
エネルギー								
移動手段(モビリティ)								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義・公正								
強固な制度・平和・安定								
水(品質)								
大気								
土壌								
生物多様性と生態系サービス								
資源効率・安全性								
気候								
廃棄物								
包括的で健全な経済								
経済取戻								

当社の事業においては、「包括的で健全な経済」「雇用」のカテゴリにおいてポジティブインパクトが期待できる。当社では、デジタル技術を活用した独自の生産管理システムの構築や国内外の協力工場との連携によって高品質かつ短納期での部品供給を実現している。単品・小ロットからの受注に対応することで多様な分野の需要を補足し、工作機械部品の供給におけるプラットフォームの役割を担う。迅速で安定した供給体制によって製造業のサプライチェーンを支えており、経済面においてポジティブな影響を与えている。また、雇用面においては、職場環境の整備を進め女性や若年層の積極採用に注力している。業務のデジタル化や自動化によって従来の製造業のイメージにとらわれない働き方を実現し、多様な人材の活躍を推進している。

製造・加工過程においては、環境面のネガティブな影響に配慮する必要がある。当社では、廃棄物のリサイクルや再生可能エネルギーの導入、徹底した省エネを通じて環境負荷低減を図っている。CO2 排出量や電力使用量は常に社内モニターで配信し、従業員への意識付けを行いながら全社的な施策として取り組んでいる。

【当社の川下における事業のインパクト】

	川下の事業											
	プラスチック及び合成ゴム素材製造業		プラスチック製品製造業		構造用金属製品製造業		金属成形機械及び工作機械製造業		自動車部品及び付属品製造業		医療及び歯科用機械・器具製造業	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)												
食料												
住居												
健康・衛生												
教育												
雇用												
エネルギー												
移動手段(モビリティ)												
情報												
文化・伝統												
人格と人の安全保障												
正義・公正												
強固な制度・平和・安定												
水(品質)												
大気												
土壌												
生物多様性と生態系サービス												
資源効率・安全性												
気候												
廃棄物												
包括的で健全な経済												
経済収束												

川下の事業では、自動車部品製造業の「移動手段、医療及び歯科用機械製造業の「健康・衛星」においてポジティブな影響が考えられる。各業界のニーズに即した部品提供を通じ、日常生活を支える商品の製造に貢献する。

また、川上の事業や当社事業と同様に、経済面でのポジティブと環境面でのネガティブな影響が想定される。当社では、セミナー等の開催を通じ、自社のDXを活用したビジネスモデルや環境に対する取り組みを発信することで、ESG・SDGsを意識した経営の重要性を取引先へ訴求している。

※インパクト分析のまとめ

主要業種の分析結果として、主に経済面のポジティブインパクトの拡大が期待できる。当社が独自に構築したビジネスモデルはものづくりのサプライチェーンを支える上で今後も重要な役割を果たすと考えられる。また、労働環境の整備や女性の積極登用を通じて雇用におけるポジティブインパクト創出を図るとともに、環境負荷削減に資する取り組みを全社横断的に推進することで環境面のネガティブインパクト低減に注力する。

上記分析を踏まえ、KPIを設定する。

③国内のインパクトニーズ

下記に示したのは、「SDGs インデックス&ダッシュボード 2022」を参照したものであり、「SDGs 達成を緑色」、「課題が残っている SDGs を黄色」、「重要な課題を橙色」、「主要な課題を赤色」としている。

「5. インパクトの特定」において愛知銀行が特定した株式会社テルミックのインパクトと対応する SDGs のゴール「3、5、7、8、9、12、13、14、17」について、多くが課題のあるゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズと整合的である。



④海外のインパクトニーズ

株式会社テルミックは主要な業種において海外子会社との連携やビジネスパートナーを有するため、海外のインパクトニーズについても整合性を分析する。特に関連度の高い国は株式会社テルミックが子会社および協力会社を有する中国である。

特定したインパクトに対応するSDGsのゴール「3、5、7、8、9、12、13、14、17」は、中国においても重要度が高いことが確認できる。

※中国のインパクトニーズ




⑤特定したインパクトに対する愛知銀行の方向性との確認

愛知銀行グループは、経営理念である「地域社会からの信頼を大切にし、地域社会の繁栄に貢献します」に基づく事業活動を通じて、「地域の発展」と「企業価値の向上を目指す」とともに、持続可能な地域社会の実現に貢献すること」をサステナビリティ方針として掲げている。上記分析で特定した株式会社テルミックの事業活動によるインパクトは、愛知銀行グループのサステナビリティ方針と整合的である。

6. 測定する KPI

①女性の積極登用や休暇取得促進によるダイバーシティ推進（ポジティブ増大）






項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブ増大
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	  
対応方針	積極的に地域からの女性採用および女性リーダー職への登用
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・女性雇用比率・女性リーダー活躍比率を 2030 年までに 50%以上（実績開示） ・産休利用者数・育児休業利用者数を 100%維持（実績開示）

※女性リーダー比率は、当社の定めるリーダー職・管理職・役員の合計に占める女性の割合

②持続可能性に配慮したサプライチェーンの構築（ポジティブ増大、ネガティブ低減）

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブ増大、環境面でネガティブ低減
インパクトカテゴリー	「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	   
対応方針	サプライチェーンの評価選定と拡充
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先数の増加（取組活動開示） ・アクティブ仕入先の環境取組割合を 2030 年までに 100%（実績開示）

③環境に配慮した取り組みの推進（ネガティブ低減）

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブ低減
インパクトカテゴリー	「大気」、「資源効率・安全性」
関連する SDGs	    
対応方針	カーボンニュートラルにチャレンジ
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2 排出量削減に向け 2030 年までに再エネ率 100%の実現（実績開示） ・産業廃棄物の分別、リサイクル 80%以上維持（実績開示）

7. インパクトの管理体制

株式会社テルミックは、最高責任者を取締役会として組織的にインパクトの管理体制を整備している。また、田中社長を中心に SDGs 事務局と連携しサステナビリティ経営の充実に向けた施策の検討および実施・検証する体制を構築している。

あいぎん PIF におけるインパクトについては、田中社長と SDGs 事務局が中心となり、KPI の達成に向けた施策を展開する。

<管理体制>

最高責任機関	取締役会
管理責任者	代表取締役社長 田中 秀範
担当部署	SDGs 事務局

8. モニタリング方法

あいぎん PIF で設定した KPI の進捗に対するモニタリングは、インパクト管理担当部署と株式会社愛知銀行の担当部署（営業店および法人営業部法人ファイナンスグループ）が年 1 回以上の協議にて確認する。

協議において、株式会社テルミックは設定した KPI の達成度について情報を開示する。株式会社愛知銀行は、達成度・進捗度を確認・検証したうえで、必要があれば KPI の修正を検討し、同社に対して適切な助言を行い支援する。

また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センター（R&I）による包括的な年次レビューを受ける。

9. 総括

本件については、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」に準拠したファイナンスであり、株式会社テルミックの事業活動がポジティブインパクトの増大およびネガティブインパクトの低減につながることを確認した。また、KPI 達成に向けた取り組みやモニタリングを通じ、持続的な ESG および SDGs への貢献につながる取り組みであることを確認した。

以 上

(参考資料)

ダイバーシティデータ

SDGs事務局

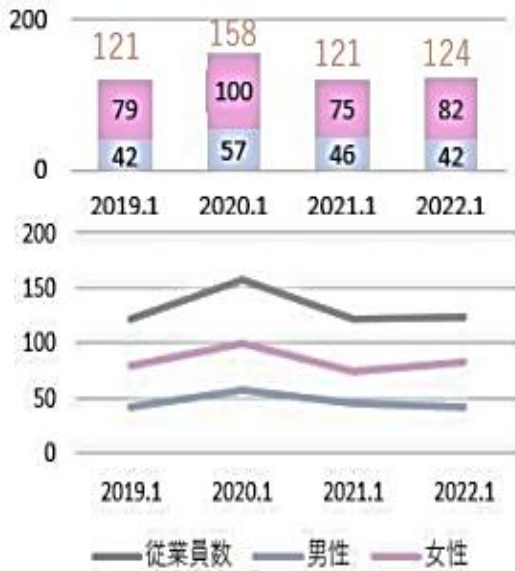
		2019.1月期	2020.1月期	2021.1期	2022.1月期
従業員数	総数	121	157	121	124
	男性	42	57	46	42
	女性	79	100	75	82
リーダー数 (男女比)	TC				1 (0 : 1)
	CL				3 (0 : 3)
	TD				2 (0 : 2)
管理職数 (男女比)	SBV				2 (1 : 1)
	SV				9 (9 : 0)
	GM				1 (1 : 0)
役員数 (男女比)					6 (5 : 1)
入社数 (内新卒数)		41	67	12	39
		2	14	8	2
退社数 (採用年度新卒数)		14	29	54	35
		0	10	6	0
平均勤続年数 (年)		2	2.3	3.4	4
平均年齢 (才)	全体	30	29.7	31.5	31
	男性	32	32.1	33.7	33
	女性	29.3	28.3	30.1	29
外国人数	総数	17	24	18	16
国籍数			3	3	3
有休取得率 (%)	平均	63.5	72	84.3	61
	男性	61.5	65.6	78.2	54
	女性	64.9	75.9	88.1	67
在宅勤務利用者数					7
産休利用者数 (期中発生) 利用率					4 100%
産後復帰者数 (期中復帰) 復帰率					3 1
育児休業利用者数 (期中利用) 男性 : 女性 利用率					5 3 : 2 100%
育児短時間勤務者数					3

※2022年1月末現在

ダイバーシティデータ2021



従業員数推移 ■男性 ■女性



従業員比率



リーダー活躍比率



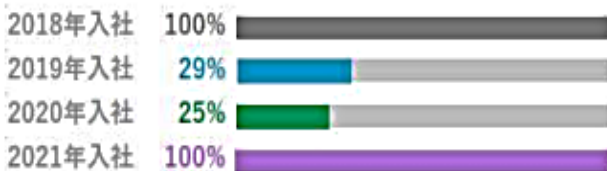
育休利用率100%



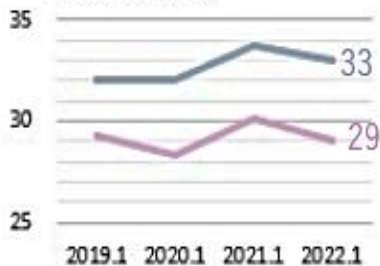
管理職比率



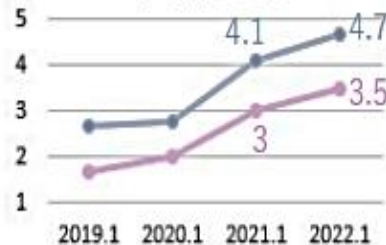
新卒定着率 ※3年在籍率



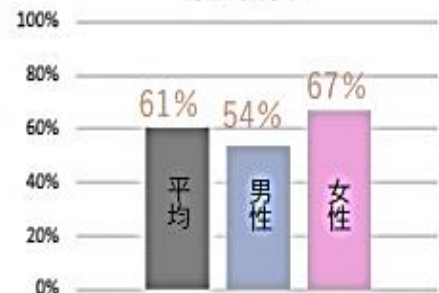
男女別平均年齢



平均勤続年数



有給取得率



ジェンダーギャップ指数

活動> 社内環境

ジェンダーギャップ指数2021

項目/平均値	世界	ベトナム	中国	日本	テルミック	MIC
世界の男女総合格差	67%					
教育格差	95%					
健康と生存格差	95%					
女性経済参加格差	58%		※B 60%		女性社員率70%	女性社員率100%
政界の女性進出率	25%	※C 30%	※C 24%	※C 14%	女性リーダー率33% 女性管理職率8%	女性リーダー率100% 女性管理職率100%
男女賃金格差			※B 24%	※A 24%	男女平等	事例無
ジェンダーギャップ世界指数 ²¹		←87/149位	↓107/149位	↑120/149位		
20		87/149位	106/149位	121/149位		

※A男女の所得の中央値の差を男性所得の中央値で除した数値

※B中国の求人サイト(BOSS直聘)

日本はG7先進国で最下位！ベトナムと中国は女性活躍率が高い

※C国際統計(グローバルノート様)

SDGsチャレンジ一覧

活動> 省エネ

No.	社内チャレンジ内容	SDGs番号	全社	別業	別部	別課	別班	開始	No.	社内チャレンジ内容	SDGs番号	全社	別業	別部	別課	別班	開始
1	SD9001品質マネジメントシステム認証取得	つくる責任	12	●				2006/3/31	33	ETIキャップ回収一案件	環境	13	●				2021/4/26
2	紙の電子化、印刷削減	環境	13	●				2013/1/25	34	ガソリンズマイルプログラム参加	省エネ	10	●				2021/4/26
3	省エネ/太陽光パネル設置/刈草機/専業用でなく充電	エネルギー	7	●				2015/1/10	35	福祉施設へPC寄付	社会貢献	10	●				2021/5/19
4	働く環境改善→空間感の向上、経費・時間・社員DIY	ジェンダー平等	5	●				2015/2/1	36	愛知銀行SDSS私基礎(社会福祉法人へ寄付)	社会貢献	10	●				2021/5/19
5	働く安全/サイクル(製造)	つくる責任	12	●				2016/1/1	37	エア配管によるスプレー缶削減(常滑/機品)	環境	13	●				2021/5/31
6	5月切手発行 動物保護団体、JAWS	環境	15	●				2017/12/24	38	リサイクルステーション	環境	13	●				2021/6/1
7	電子手帳一人の移動や紙削減、スピードP	技術革新	9	●				2018/9/25	39	カーシェア	環境	13	●				2021/6/1
8	給水所設置(本社、常滑、知立)→PET削減	環境	6, 13	●	●	●		2019/1/1	40	エネタイプ 働くアイデア/急発案、旧プレーキ	環境	13	●				2021/6/1
9	リネー会議一時的な拠点間移動を無くす	環境	13	●				2020/1/1	41	遊歩シートで省エネ 常滑検査室	環境	13	●				2021/6/1
10	全社員にマイニング配布(自社オリジナル)	環境	13	●				2020/12/20	42	紙多量消費/予防接種の費用負担 就業時間内許可	環境	13	●				2021/6/25
11	刈草機ハーモニーカンパニー認定(女性活躍企業)	ジェンダー平等	5	●				2020/12/21	43	ラベルシールを貼る4のし同一素材に、分別できるように	つくる責任	12	●				2021/7/1
12	製パン廃止	環境	13	●	●	●		2021/1/6	44	産業廃棄物処理、リサイクル、適正運搬業者へ処理業者と契約	つくる責任	12	●				2021/8/1
13	社内勉強会(毎日全員)	環境	13	●				2021/1/6	45	化学物質管理	つくる責任	12	●				2021/8/1
14	女性活躍企業男女46、リーダー46	ジェンダー平等	5	●				2021/1/31	46	ダイバーシティデータ公開	省エネ	10	●				2021/8/23
15	Eコマンド品購入推進(クリーン購入)	環境	14	●				2021/2/1	47	産業廃棄物 マニュアル調査、運搬業者と処理業者選定	つくる責任	12	●				2021/9/1
16	産業廃棄物すべての、分別活動と産業廃棄物開始	つくる責任	12	●				2021/2/1	48	常滑芝居を運ぶ駅として活用 とごなめスーパーシティ構想	住みやすい町	11, 17	●	●			2021/9/1
17	社内廃棄物処理推進委員会に11万円(省エネ、福祉など)	環境	13	●				2021/2/1	49	コロナクッションを就業時間内で接種可能に	環境	13	●				2021/9/29
18	カルピスワークホームズ	環境	13	●				2021/2/1	50	自社セミナー開催、ノウハウの外部提供	技術革新	9	●				2021/10/1
19	公共交通機関通勤、自転車通勤利用者、在宅勤務	環境	13	●				2021/2/1	51	インフルエンザワクチン接種を従業員の家族も可能に	健康	3	●				2021/10/8
20	ハイブリッド車、電気自動車、ハイオディーゼル車へ切替	環境	13	●				2021/2/1	52	省エネ/専業用電力/CO2削減オプション導入(本社、知立)	エネルギー	7	●				2021/10/18
21	産業廃棄物を分別アップサイクル(アートプロジェクト)	つくる責任	12	●				2021/3/1	53	ジェンダー平等推進委員会(スタッフ編、管理職編)毎週10分3ヶ月	省エネ	10	●				2021/10/18
22	プラ分別、自社仕入れ削減してプラ再生SDGsグッズ製作	環境	13	●				2021/3/1	54	エコポイント還元のため、お弁当廃止を上げる	環境	13	●				2021/11/12
23	お弁当プラ容器廃止→サイクル管理へ	環境	13	●				2021/3/1	55	社費を紙(グラフファン)裏紙に切替	つくる責任	12	●				2021/12/9
24	紙削減、電子化、電子帳簿、両面コピー(※別シート)	環境	13	●				2021/3/3	56	福祉団体(ステイ)店員分給マスク購入	省エネ	10	●				2021/12/24
25	ペーパータオル廃止(知立)	環境	13	●				2021/3/3	57	会社で働くメンバーランチ費無料、地産地消、選べる健康弁当	健康	3	●				2022/1/26
26	紙止めスプレー廃止→紙止め紙(機品)	環境	13	●				2021/3/11	58	全社インセンティブ/県上連携祝い	省エネ	10	●				2022/2/21
27	紙レシート導入→プラから、重曹引(機品)	環境	13	●				2021/3/11	59	使用済み加工品回収サービス、分別/サイクル	つくる責任	12	●				2022/2/28
28	社外勉強会(常滑向け)	技術革新	9	●				2021/4/1	60	防滴スプレーのフロンガス削減のためエア配管で作業	環境	13	●				2022/2/28
29	かみや健康づくり/チャレンジ認定 with組合けんぽ	健康	3	●				2021/4/1	61	省エネ/太陽光パネル設置計画/専業用電力(常滑)	エネルギー	7	●				2022/3/8
30	省エネ点検 200のアイデアチェックシート作成推進活動	環境	13	●				2021/4/1	62	国際女子デー2022を扱う	ジェンダー平等	5	●				2022/3/8
31	知立オフィス1F 省エネ、防犯、遠光カーテン設置	環境	13	●				2021/4/25	63	常滑工場、省エネ、電気切忘れ防止、最終選別タイマー設定	エネルギー	7	●				2022/3/31
32	びん、缶、ペットボトルベンディング会社へ回収依頼	環境	13	●				2021/4/26	64	Jリッシュ休職(5日連続)可能に	健康	3	●				2022/5/26



2021年“自然環境”に対する取組み

- 1 事業活動で排出するCo2の削減
 ……2030年にカーボンニュートラル宣言



- 2 産業廃棄物を可能な限りゼロにする
 ……ゼロウェイスト+リサイクル活動



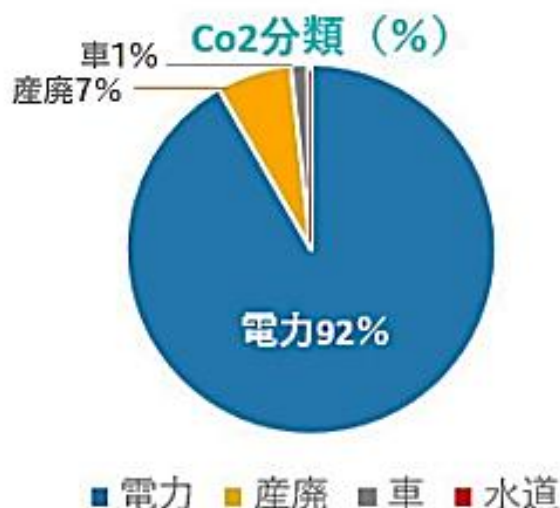
- 3 無駄な資源・エネルギーを削減
 ……省エネ+省資源活動



Co2排出量グラフ

活動>カーボンニュートラル

2021年度Co2排出量187 t/年（前年度211 t） **11%削減成功**



※中は社内配送のみ、委託輸送物流除く



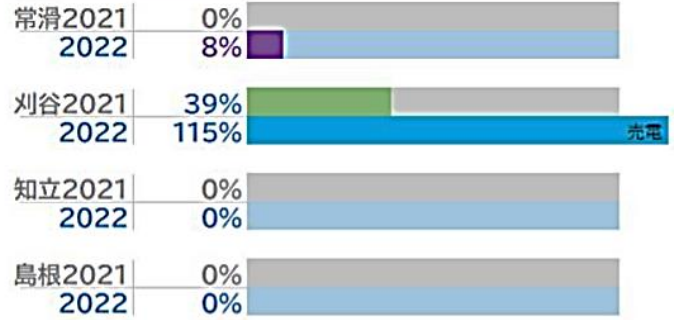
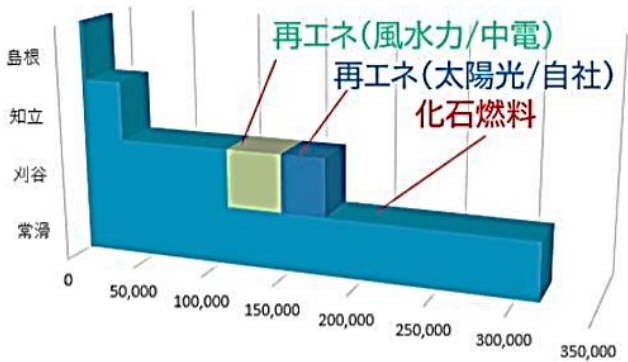
電力使用量グラフ

活動 > 再エネ100%

全社電力使用量52万kwh/年 前年2%UP

再エネ率 2021結果11%→2022計画40%

2021電力使用量（資源別）kwh



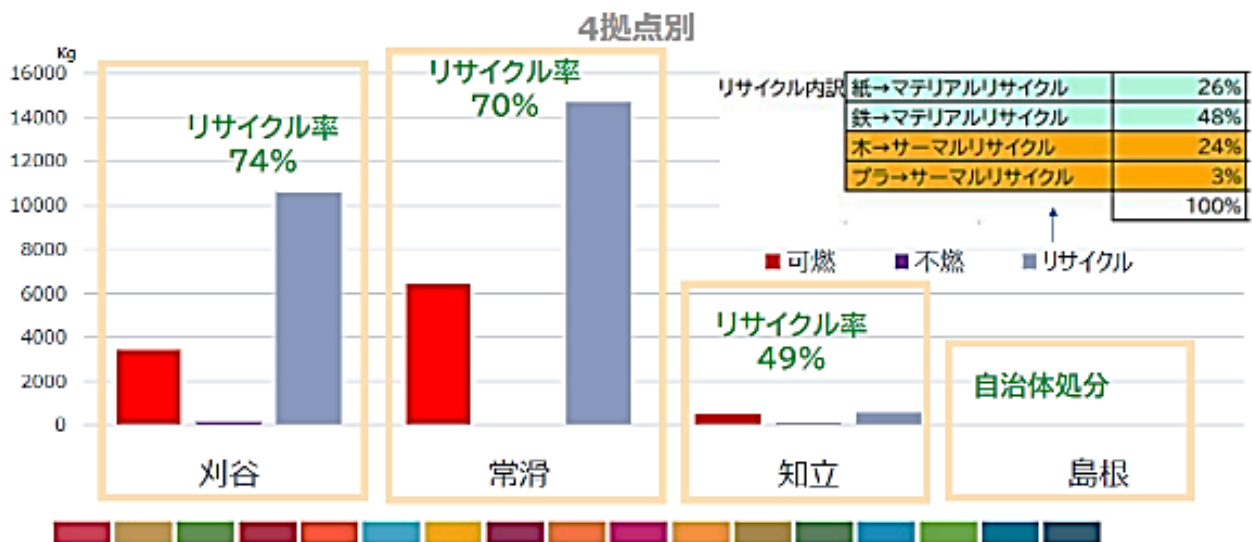
◎刈谷事業所を4Q目に全電力再エネ化

◎再エネ目標6%は結果13%、Co2排出削減11%成果あり

産業廃棄物とリサイクル率

活動 > ゼロウェイスト

2021年産業廃棄物からのリサイクル率 **全社71%** ※目標60%（2020年度45%）



テルミック環境目標 2022年度

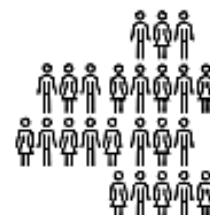
活動>カーボンニュートラル

再エネ率40% 常滑事業所→10月太陽光パネル完工予定



活動>ゼロウェイスト

リサイクル率80% 可燃ごみ削減と再資源・再利用化

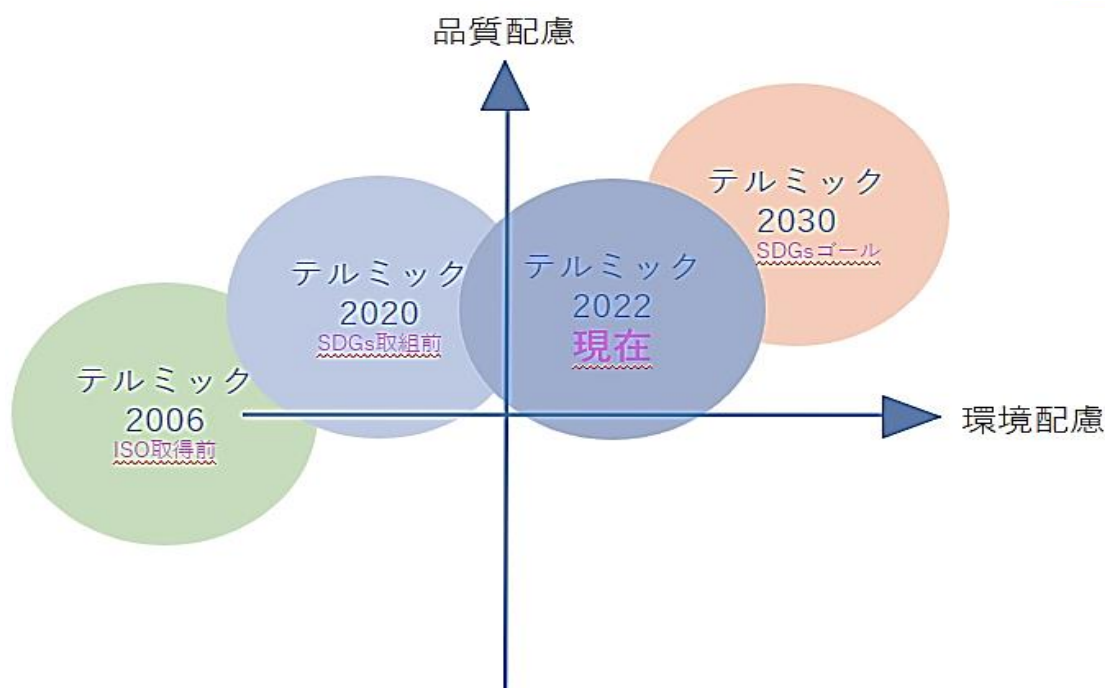


活動>省エネ

- ・ マテリアル見直し→省エネ・省資源・新素材、グリーン購入品選定、化学物質購入管理など
- ・ インフラ見直し→生産性向上設備導入、エア配管工事、EV車など
- ・ メソッド→協力業者連携、エコドライブ70点以上、省エネ200のアイデア導入など



テルミックの未来予想図





セカンドオピニオン

株式会社テルミック

ポジティブインパクトファイナンス

2022年8月10日

ESG 評価本部

担当アナリスト：新井 真美

格付投資情報センター（R&I）は愛知銀行がテルミックに対して実施したポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブインパクト金融原則（PIF 原則）に適合していることを確認した。

R&I は別途、愛知銀行のあいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制が PIF 原則に適合していることを確認している¹。今回のファイナンスに関して愛知銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体系の業務プロセスが PIF 原則に準拠して適用されていることを確認した。

愛知銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

(1) 融資先

社名	株式会社テルミック
所在地	愛知県刈谷市
設立	1997年2月
資本金	75百万円
事業内容	金属加工、治具部品加工
従業員数	130名（2022年5月末）

1990年の創業以来、金属加工や治具部品加工を手掛ける。リーマン・ショックを契機に業務改革を行い、外部の協力会社と連携した生産体制を確立。協力工場を増やすことで受注体制を強化するとともに、効率的な営業活動を可能にする生産管理システムを整備し、工作機械用部品を中心に多様な業界からの受注に迅速に対応する。物流面を強化したネットワークを生かし、全国の顧客と仕入先を繋ぐ役割を果たす。こうした独自のビジネスモデルの構築によって近年大幅に業容を拡大する中、事業活動を支える従業員の満足度向上にも取り組む。特に女性が働きやすい環境づくりに注力し、全従業員の約7割を占める女性の活躍を推進している。環境面においてはカーボンニュートラルや廃棄物削減に向けた数値目標を掲げ、全社を挙げて具体的施策を進める。

(2) インパクトの特定

愛知銀行は融資先の事業内容や主要な仕入先・販売先、展開地域等に関するヒアリングに基づいて事業性評価を行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析した。

主要事業である金属・治具部品加工事業におけるインパクトを UNEP FI が提供するインパクトマッピングのデータから洗い出した。デジタル技術を活用した独自の生産管理システムや国内外の協力工場との連携体制により、高品質かつ短納期での部品供給を実現している。業界や分野を問わず様々な用途の受注に単品・小ロットから対応し、工作機械部品の供給プラットフォームとして製造業のサプライチェーンを支えることで「包括的で健全な経済」に貢献する。業務のデジタル化・効率化を進めることで多様な人材が活躍できる職場環境を整備し、女性や外国人労働者を積極的に採用している。従業員の QOL 向上と雇用創出の点でポジティブな影響をもたらす取り組みと捉えた。環境面については部品の製造・加工過程に

¹ 2022年7月13日付セカンドオピニオン「あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」
https://www.ri.co.jp/news_release_suf/2022/07/news_release_suf_20220713_jpn_01.pdf

おける環境負荷をネガティブインパクトとして特定した。再生可能エネルギーの導入や廃棄物のリサイクルを積極的に進めており、この取り組みを加速させることで環境への影響低減を図る。融資先は環境保全の取り組みの重要性を川上の事業にも訴求する。仕入先を選定する際に当該企業の環境方針を確認する運用とし、参考事例として融資先の取り組みも共有しながら川上の事業における環境負荷低減を促進している。全体として経済面および社会面のポジティブインパクトと環境面のネガティブインパクトを特定している。特に融資先が構築した独自のビジネスモデルは、ものづくりのサプライチェーンを幅広く支えるという点でポジティブインパクトの増大が期待できる。

愛知銀行は上記分析で特定したインパクトカテゴリをSDGsに対応させてインパクトニーズを確認した。融資先は中国にも子会社や協力工場を有することから、持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）が提供する日本および中国のSDGダッシュボードを参照し、融資先の事業に関連するSDGsの取り組みは重要性が高いことを確認した。

愛知銀行は、同行グループのサステナビリティ方針『『地域の発展』と『企業価値の向上』を目指すとともに持続可能な地域社会の実現に貢献する』と融資先の取り組みが整合的であると考えている。

(3)インパクトの評価

愛知銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理してKPIを設定した。






① 女性の積極登用や休暇取得促進によるダイバーシティ推進（ポジティブ増大）

インパクトの種類	社会面でポジティブインパクト増大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	  
対応方針	積極的な地域からの女性採用および女性リーダー職への登用
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> 女性雇用比率・女性リーダー活躍比率*を2030年までに50%以上とする（実績開示） 産休利用者数・育児休業利用者数100%を維持する（実績開示） <p>*女性リーダー活躍比率は、テルミックの定めるリーダー職・管理職・役員の合計に占める女性の割合</p>

② 持続可能性に配慮したサプライチェーンの構築（ポジティブ増大、ネガティブ低減）

インパクトの種類	経済面でポジティブインパクト増大、環境面でネガティブインパクト低減
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	   
対応方針	サプライチェーンの評価選定と拡充
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> 取引先数増加に向けた取り組みを推進する（取り組み活動開示） アクティブ仕入先の環境取組割合を2030年までに100%する（実績開示）

③ 環境に配慮した取り組みの推進

インパクトの種類	環境面でネガティブインパクト低減
インパクトカテゴリ	「大気」「資源効率・安全性」
関連するSDGs	    
対応方針	カーボンニュートラルにチャレンジ
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出削減に向け2030年までに再エネ率100%とする（実績開示） 産業廃棄物の分別、リサイクル率80%を維持する（実績開示）

愛知銀行は、融資先が取締役会の下でインパクトを管理し、社長を中心としてサステナビリティ経営の充実に向けた施策の検討・実施・検証する体制を整備していることを確認した。

(4) モニタリング

愛知銀行のモニタリング担当者は、融資先のインパクト管理担当者と少なくとも年に1度 KPI の進捗・達成度を検証し、必要に応じて KPI の修正を検討する。目標達成に向けたノウハウの提供や助言等を通じ、融資先の取り組みを継続的に支援する。

以上

【留意事項】

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全および社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関または民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対する R&I の意見です。R&I はセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&I はセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&I がセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&I がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&I は、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&I は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&I は、R&I がセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとし）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何や R&I の帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&I に帰属します。R&I の事前の書面による許諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

【専門性・第三者性】

R&I は 2016 年に R&I グリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017 年から ICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018 年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。

R&I の評価方法、評価実績等については R&I のウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>）に記載しています。

R&I と資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。